

2018年(平成30年)2月28日(水) NO 119号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



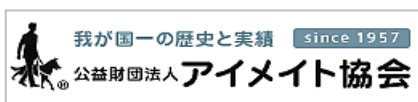
機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置 メンテナンス事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置 消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い



【加盟団体】

	RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/	
	NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/	
	公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/	
	一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/	
	公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/	

【応援団体・企業】



ごあいさつ



『終身路(みち)を譲るも百歩を枉げず(まげず)』

という言葉があります。

一生涯、人に道を譲り続けたとしても、余分に歩いた距離の合計は百歩にもならないということです。

「お先にどうぞ」と道を譲ることは、相手のために自分が犠牲を払う行為のようにも思えます。しかし、常に道を譲ることを心掛ける人は、必ず時間に余裕を持って出かけるようになるでしょう。その「心のゆとり」が安全運転につながり、交通事故を未然に防げると考えたなら、どうでしょうか。譲る心を持つことは、自分自身のためにも大切なことなのです。

今月の良い話 「国民栄誉賞授与の羽生氏・井山氏」

～羽生 善治 (永世七冠)～

私は今日まで将棋を続けてきて、一つのことに對して十年、二十年、三十年と同じ姿勢で同じ情熱を傾け続けられるのが才能だと実感しています。
それでも、長い間やっているとどうしても浮き沈みというのはあるんですね。
瞬間的なものなら無理してでもできるでしょうけど、本当の長い歳月となると、どうしても上り下り、バラツキが出てしまう。
ですから、あまり前のことを振り返らないでやっていくことが、長く続けていく上では大切なことなのかなとは思っています。

棋士としてのあり方という点では、いまでも印象に残っているのが、亡くなった米長邦雄先生です。
私が初めて名人戦に臨んだ時の相手が、前年に49歳で名人位に就かれた米長先生でした。あの時の先生は、対局中に一回も膝を崩されなかったり、並々ならぬ思いを込めて臨んでおられました。
勝負は、私が三連勝して名人位に王手をかけたんですが、そこから先生が盛り返されて二連敗を喫してしまいました。
後で知ったのですが、米長先生は私に三連敗した後、負けたら引退するつもりで第四局に臨まれていたそうです。
ところが先生は、対局の合間の休憩時間などには、立ち会いの内藤國雄先生と朗らかに談笑をなさったりして、そういう覚悟は微塵も感じさせなかった。
並々ならぬ決意を持って勝負に臨みつつも、そういう逆の振る舞いをあえてなさっていた姿が、非常に印象に残っています。

～井山 裕太 (囲碁七冠)～

子供の頃はしょっちゅう負けては涙を流していましたから、負ける辛さは本当によく分かっています。
ただ、師匠から「負けて涙を流しているだけでは何万回打っても強くなれない」と、なぜ負けたのかを反省することの大切さを諭されました。
プロになってからは、正直言って自分がどこまでやれるかという不安が結構ありましたし、最初に張栩さんに名人戦で挑戦して負けた時というのは、この人に勝つのは本当に大変だろうなとも痛感しました。
それぐらい大きな差を感じて、ショックを受けたんです。
でも、それをこれからの自分に生かせばいいと気持ちを切り替えてまた対局に臨み続けました。
タイトル戦ではもちろん負けもたくさん経験していますし、その度に辛い思いもしますが、すぐ次の対局が来ますので、塞いでいる暇もないというのも正直なところなんです。
とにかくタイトル戦という最高の舞台で、最高の相手と濃密な時間を過ごすことが一番勉強になるわけですから、折角そういう機会を得たからには最大限に生かさなければなりません。



自分の場合は囲碁をずっと好きでやってきたわけですが、そういう気持ちを表現する意味でも、目の前の一手、一局に集中することはもちろん大切にしてきました。
対局中だけでなく、普段どれだけ囲碁のことを考え、しっかり向き合っているか、その積み重ねが凄く大事だと思います。
いい時は誰でも頑張れると思うんですけど、大変な時でも変わらずにそういう姿勢を持続することとは大事だと思いますね。
そういう意味では、どの世界でもそこで長く活躍されている方というのは凄く尊敬します。
自分はタイトルを取り始めてまだ数年ですし、とにかく棋士として完成しているとは全然思いません。まだまだ弱いと思います。
ですからそういう尊敬すべき方々を目指して、とにかくやれるところまでやってみたいという気持ちがいまは非常に強いんですね。

記事提供 致知出版社

今月の良い話 「トム・クルーズのポジショニング方法」

ハリウッドスターのトム・クルーズは 30 年間、トップの地位に君臨しています。大半の俳優や女優は、トップに立ってもそこにいられるのは 5 年から 10 年程度。それ以降は年収も出演依頼も激減。新人や無名の人に混じってオーディションを受けまくり、役を勝ち取っていかねばならないのです。



そんな中、30 年もトップを走り続けているトム・クルーズは、ポジショニングの天才です。彼は、どうしたら長く映画に出続けられるかを若いときから研究していました。彼は、「おじさん」役を避けています。また、家庭のある人物の役はまれにやりますが、基本的に生活臭のない役を選んでいきます。そして恋愛を前面に出した作品にも出ません。

こうして、いつまでも若々しく、年齢不詳なイメージを保つのです。



そしてもう一つ、必ず 陰と陽 の両方の作品に出るといことです。「トップガン」や「ハスラー 2」でカッコいい役をこなしたら、そのあとすぐに「レインマン」や「7月4日に生まれて」など、クセのある人物、社会の闇を描いた作品に出演して、役やイメージを固定化させないようにしています。



どんな作品に出るか、どのタイミングで出るか私たちの仕事や会社も、ポジショニングを考えているかどうかが発展・成長と持続・延命のカギとなります。あなたが本当に成功し続けたいなら、トム・クルーズのように 30 年というのは長いですが、今後 10 年のポジショニングを考え、そのポジションを自ら作っていかねばなりません。



道幸 武久

記事提供

合資会社諸葛孔明

事件ファイル NO119

変わった犯行手口

下記事例は、2015年に茨城県で実際にあった事件です。

ドラマや小説の中の話のようですが、なるほどと唸らせるものがあります。ご注意を！

【犯行人数】

男女2人組複数犯による犯行！犯行時間5分

【犯行手口】

犯人の女性が市役所職員を装い、昼時に在宅中の男性宅を訪問。

“ゴミ置き場がこの近くに変更となりました”と在宅中の男性をゴミ置き場へと誘導。

もう一人の共犯者（男性）は、このとき玄関裏に隠れていて、家人が玄関を出る際の無施錠を確認した後、家に侵入！

財布に入っていた11万円をまんまと強奪！

【犯罪に遭ってしまった原因】

家人が近くのゴミ置き場へ女性犯人と向かう際、玄関ドアを施錠をしなかったのが原因！施錠さえすればこの犯罪は防げた。

プロ太の小話集

NO119

『馬鹿の定義』

「パパ～、馬鹿って何～？」

「相手に何かを伝えるとき、簡単に済むことでも、

わけのわからない長ったらしい方法で伝えようとしてしまって

結局相手に何が言いたいのか伝わらなくなってしまうような人のことだよ。

わかったかい？」

「わからないよ・・・パパ」



////////////////////////////////////



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

世界が誇るスーパーコンピューターに「最後に生き残るのはどのような人間か」

ということを計算させた結果、「譲る心を持った人間」という答えが返ってきた

そうです。

「譲る心」とは、自分のことは後回しにしてでも困っている人を優先する気持ち、損得は二の次と考えられる人を指します。譲る心を実践できる人は必ず回りまわって自分に返ってくるそうです。これから起こる色々なことを楽しみながら、譲れる人間になりたいものです。

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です（体長10メートル・体重1トン・無敵無敗）